

RV016、RV042、RV042G および RV082 VPN ルータのユニバーサル プラグ アンド プレイの 設定 (UPnP)

目標

ユニバーサル プラグ アンド プレイは (UPnP) デバイスがネットワークで互いを検出する ようにする一組のネットワーク プロトコルです。 検出されたデバイスはそれからデータ 共有、通信および催し物のためのネットワーク サービスを開始できます。

この資料の目標は RV016、RV042、RV042G および RV082 VPN ルータの UPnP を設定す る方法を示すことです。

適当なデバイス

- RV016
- RV042
- RV042G
- RV082

[Software Version]

- v4.2.2.08

UPnP 設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは > UPnP 『 Setup』 を選択し。 UPnP ページは開きます:

UPnP

UPnP Function : Yes No

Service : DNS [UDP/53~53]

Service Management

Name or IP Address :

Enable :

Add to list

Delete Add New

View Save Cancel

ステップ 2. UPnP 機能を有効にするために Yes オプション・ボタンをクリックして下さい。

UPnP

UPnP Function : Yes No

ステップ 3 サービス ドロップダウン リストから、UPnP デバイスを適用することを望むサービスの適切なサービスおよびあらかじめ定義されたポートを選択して下さい。

Service : DNS [UDP/53~53]

Name or IP Address :

Enable :

- DNS [UDP/53~53]
- FTP [TCP/21~21]
- HTTP [TCP/80~80]
- HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
- HTTPS [TCP/443~443]
- HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
- TFTP [UDP/69~69]
- IMAP [TCP/143~143]
- NNTP [TCP/119~119]
- POP3 [TCP/110~110]
- SNMP [UDP/161~161]
- SMTP [TCP/25~25]
- TELNET [TCP/23~23]
- TELNET Secondary [TCP/8023~8023]
- TELNET SSL [TCP/992~992]
- DHCP [UDP/67~67]
- L2TP [UDP/1701~1701]
- PPTP [TCP/1723~1723]
- IPSec [UDP/500~500]

注: 望ましいサービスが利用できない場合、[サービス](#) マネジメント セクションを参照して下さい。

ステップ 4 名前か IP address フィールドでは、UPnP デバイスの IP アドレスが名前を入力して下さい。

Service : DNS [UDP/53~53]

Service Management

Name or IP Address : 192.168.15.6

Enable :

ステップ 5 それぞれ IP アドレスのためのこの機能を有効にするために、**Enable チェックボックス**をチェックして下さい。

ステップ 6. リストするために『Add』 をクリックして下さい。New エントリはリストで表示されます。

UPnP

UPnP Function : Yes No

Service : DNS [UDP/53~53]

Service Management

Name or IP Address :

Enable :

Add to list

DNS [UDP/53~53]->192.168.15.6 [Enabled]

UPnP リストからのエントリを編集するステップ 7. (オプションの) は編集したいと思うリストからエントリを、編集に必要な情報を、『Update』をクリックします選択します。

UPnP リストからエントリを削除するステップ 8. (オプションの) は削除し、『Delete』をクリックしてほしいリストからエントリを選択します。

ステップ 9.設定を保存するために『SAVE』をクリックして下さい。

ステップ 10. UPnP フォワーディング表を参照するために『View』をクリックして下さい。
UPnP フォワーディング表リスト ウィンドウは開きます：

利用可能なオプションは次の通り定義されます：

- サービスは name —サービス名前を表します。
- protocol —サービスに使用するプロトコルを表します。
- ext. port —サービスのための外部ポートを表します。
- 内部 port —サービスのための内部ポートを表します。
- ip address — UPnP デバイスの IP アドレスを表します。
- UPnP がイネーブルまたはディセーブルであるかどうか enable —表します。

管理を保守して下さい

サービス マネジメント セクションが UPnP 設定のための新しいサービスを作成するのに使用されています。

ステップ 1.サービス管理をクリックして下さい。

UPnP

UPnP Function : Yes No

Service : DNS [UDP/53~53] ▼

Service Management

Name or IP Address :

Enable :

サービス管理ウィンドウは現われます:

Service Name :

Protocol : TCP ▼

External Port :

Internal Port :

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

ステップ 2. サービス名フィールドでサービス名を入力して下さい。

ステップ 3. プロトコル ドロップダウン リストから適切なプロトコル タイプを選択して下さい。

Service Name :

Protocol :

External Port :

Internal Port :

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

利用可能なオプションは次の通り定義されます:

- TCP (Transmission Control Protocol (TCP)) —保証された送信を必要とするアプリケーションによって使用されるトランスポートレイヤプロトコル。
- UDP (User Datagram Protocol (UDP)) —データグラム ソケットをホストを通信をホストするために確立するのに使用します。

ステップ 4.外部 Port フィールドで外部ポートを入力して下さい。

注: 作成されたサービスに標準ポート数がある場合、その数は外部ポート番号として使用する必要があります。

Service Name :

Protocol :

External Port :

Internal Port :

DNS [UDP/53~53]
FTP [TCP/21~21]
HTTP [TCP/80~80]
HTTP Secondary [TCP/8080~8080]
HTTPS [TCP/443~443]
HTTPS Secondary [TCP/8443~8443]
TFTP [UDP/69~69]
IMAP [TCP/143~143]
NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]

ステップ 5.内部 Port フィールドで内部ポートを入力して下さい。

注: 外部ポート番号は使用することができます。ただし、高い安全性用の、他のどのポート番号も同様に使用することができます。

Service Name :

Protocol :

External Port :

Internal Port :

NNTP [TCP/119~119]
POP3 [TCP/110~110]
SNMP [UDP/161~161]
SMTP [TCP/25~25]
TELNET [TCP/23~23]
TELNET Secondary [TCP/8023~8023]
TELNET SSL [TCP/992~992]
DHCP [UDP/67~67]
L2TP [UDP/1701~1701]
PPTP [TCP/1723~1723]
IPSec [UDP/500~500]
serviceexp [TCP/15->28]

ステップ 6.リストするために『Add』 をクリックして下さい。サービスはサービス フィールドで表示されます。

サービスを削除するステップ 7. (オプションの) はリストから削除し、『Delete』 をクリックするために望むサービスを選択します。

サービスを編集するステップ 8. (オプションの) はリストからアップデートし、必要な情報を編集し、『Update』 をクリック するために望むサービスを選択します。

ステップ 9. 『OK』 をクリック して下さい。これはウィンドウを閉じ、UPnP ページに戻って奪取 します。